

杉並和泉学園 小学部

中学の学びにつながる小中一貫教育校の学校図書

今の学校図書館

本校は、小中一貫教育校であり、図書館は和泉中学校との共有施設である。

西棟2階に位置し、6教室分の広さの中に畳敷きの絵本コーナー、小中各々の閲覧スペースがあり、小中が同時に授業利用することができる。

蔵書は小中合計で23,000冊を有する。調べ学習の資料は大半が小中共有となっているため、豊富な資料を利用して充実した調べ学習をすることができる。

6年生は中学部の文学の本を借りることができ(申請が必要)、読書の幅を広げるきっかけになっている。



休み時間は小中の児童生徒でにぎわう。

学校図書館の運営

- ・学校図書館運営計画は小中 9 年間の計画となっており、小学部の読書教育、情報活用教育が中学部への学びへつながるよう意識付けられている。
- ・図書館の運営については、小中それぞれの学校司書と司書教諭がコミュニケーションを取り合い、認識を共有している。
- ・ボランティア活動は、保護者/地域有志による朝の読み聞かせが行われており、絵本の選定は学校司書とともにやっている。

1 年間の主な活動

4月:全学級においてオリエンテーション実施

6月・2月:読書月間

図書委員会による読書推進イベント

児童「おすすめ本紹介」カード作成

小中図書委員会連携の図書コラボ給食

特色ある取組

- ・小中共同「りんごの棚」の設置



L.L.ブック・点字本・大活字本・マルチメディア DAISY など、多様な形態で読書を楽しむきっかけになる資料を収集。

一か所に集めた棚を作ることで、特別支援学級の児童・生徒も手に取りやすくなった。

これからの学校図書館

- ・学級数の増加により、従来通りの図書館利用割当が難しくなっている。今後は、読書活動と同様に探究的な学習にも図書館を有効に活用することを考え、様々な方法を試行していく。
- ・りんごの棚のさらなる充実を図る。特別なニーズのある児童に読書の喜びを体験するきっかけを作り、多様な児童それぞれが必要とする本とつながることができる図書館作りを目指す。